

第1号事業

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-1	
事業名	郷土資料の調査収集・活用			担 当 課	学芸課
				変更内容	—
目 的	1.区民共有の財産である郷土資料を未来に継承するため、新宿区に関する郷土資料を継続的に調査・収集し、整理・整備を行い適切な環境下で保存していく。 2.資料を展示や事業等で活用するため、整理・修復するとともに活用しやすい環境の整備を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	23,339	22,732	607	大科目	事業費
経常収益計	23,339	22,732	607	種別	補助事業
事業費	4,525	4,084	441	(単位:千円)	
人件費	18,814	18,648	166		
経常費用計	23,339	22,732	607		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 修繕による休館期間を利用して、所蔵資料の適正な整理・保管を行う。また、資料活用のルール整備をすすめる。
- (2) 閲覧図書 of 修理製本計画を基に整理や修理を行い、資料の積極的な利用を促進する。
- (3) 来館者・電話等へのレファレンス、及び館蔵資料の貸出業務を行う。写真データベース公開数を500枚にする。館蔵資料の貸出方法、閲覧方法については、区と調整をすすめる。
- (4) 収蔵庫内の耐震対応・整理を集中的に行う。

2 成果指標

写真公開デジタルアーカイブで閲覧できる写真の総数/500枚(平成25年度実績:年度途中で事業手法を見直したため実績なし)

3 実施上の課題

- (1) データベース以外の収蔵品リストの整理・統合。
- (2) 今後の資料受入に対応するための収蔵場所の確保。
- (3) 資料の継承を図るため、デジタル化、レプリカ作成を計画的に行う。
- (4) 収蔵庫内の耐震対応・整理を新宿区と調整しすすめる。

4 顧客満足度の向上方策

平成25年度からレファレンス及び所蔵資料の貸出業務の窓口担当者を定めてきたが、これまで以上にスムーズかつ効率的に業務が遂行できるよう、窓口担当者のスキルアップを図る。写真データベース公開数を増やす。

5 実績

	実施内容
平成25年度	博物館の写真資料の活用(貸出実績170件725点)。資料閲覧対応(9件171点)。写真ネガのデータ化(919コマ)。当館資料や新宿に関するレファレンス(平均12件×329日=3,948件)。資料の修復(資料の軸装、閲覧用図書の修復、林芙美子資料のレプリカ作成)。写真資料データベースと検索機能付き公開用写真資料デジタルアーカイブの運用。財団ホームページ上で「データベース写真で見る新宿」の公開。写真データベース登録総数7,429点。音声資料の文字情報化 20点。「新宿区地域文化財セレクション」DVD作成。「新宿区無形民俗文化財セレクション」DVD作成。文化財の撮影(5か所)。
平成24年度	所蔵資料の修復(9点)。小学校所蔵資料の修復(2点)。閲覧用図書の修復(36点)。レファレンス3,948件。写真データベース登録総数5,483点(2,000点を追加入力)。音声資料20点(2,200分)の活字化。新宿歴史博物館常設展示紹介DVD作成、林芙美子記念館内部の映像記録、文化財の撮影。
平成23年度	出土品の修復(2点)。小学校所蔵資料の複製(1点)。レファレンス3,948件。
平成22年度	戦前の地図の修復(5点)。林芙美子関連資料の修復(9点)。レファレンス3,384件。

6 対前年度予算増減説明

収蔵庫内の整理を強化するための造作実施による委託費の増

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成元年度
------	--------------------	------	-------

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-2
事業名	展示会の開催			担 当 課	学芸課
				変 更 内 容	—
目 的	1.新宿の歴史・文化に理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関し展示会を行う。 2.区民等に新宿の歴史・文化に接する啓発を行うため、普段は展示していない博物館の所蔵資料を公開する。 3.多様な機関との連携構築による展示会を開催する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会 計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	32,076	33,215	△ 1,139	大科目	事業費
経常収益計	32,076	33,215	△ 1,139	種別	補助事業
事業費	9,664	11,009	△ 1,345	(単位:千円)	
人件費	22,412	22,206	206		
経常費用計	32,076	33,215	△ 1,139		

事業の計画

<p>1 実施内容(予定) ※新宿歴史博物館の大規模修繕による休館を予定しているため、本来であれば年6回の企画展を開催するが、平成27年度は年4回を予定している。</p> <p>(1) 特別展 「新宿の縄文人」4月1日(水)～5月6日(水・振) 観覧者数:2,000人(全会期:平成27年3月8日(日)～5月6日(水・振))</p> <p>(2) 協働企画展 ①「文豪50人の直筆原稿 雑誌風景より」5月16日(土)～7月5日(日) 観覧者数:3,000人 ②「熊本と新宿を繋ぐ作家 漱石・八雲」7月18日(土)～8月30日(日) 観覧者数:4,000人</p> <p>(3) 所蔵資料展 「番付の楽しさ」9月12日(土)～11月29日(日) 観覧者数:3,000人</p> <p>2 成果指標 延べ観覧者数/12,000人(平成25年度実績:18,083人)</p> <p>3 実施上の課題 (1) 区民の共有財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した積極的PRを行う。 (2) 関連イベントの開催を含め、関係自治体や団体と協働したより魅力的な展示を企画・実施する。 (3) 所蔵資料展は、資料の調査と共に、収蔵庫の整理を念頭におきながら実施するよう努める。 (4) 観覧者数を常に把握し、展示期間中も観覧者増加のための周知活動を行う。 (5) 大規模修繕による休館を予定しているため、より多くの集客を確保するため周知活動を行う。</p> <p>4 顧客満足度の向上方策 (1) より多くの区民に観覧してもらうため、効果効率的な周知方法を検討し、実行する。 (2) 文字の大きさを高齢の方にも見やすい大きさにする等、展示・陳列を配慮する。</p> <p>5 実績 平成25年度 (1) 特別展 ①「中村彝展-下落合の画室-」4月1日(月)～5月12日(日)延べ観覧者数:3,152人 ②「新宿区文化財保護条例施行30周年 新宿の文化財」9月14日(土)～11月4日(月)延べ観覧者数:2,712人</p> <p>(2) 協働企画展 ①「鉄腕アトムのみみつ展」7月20日(土)～9月1日(日)延べ観覧者数:3,233人 ②「生誕110年記念 林芙美子展-風も吹くなり雲も光るなり-」11月17日(日)～平成26年1月26日(日)延べ観覧者数:2,898人</p> <p>(3) 所蔵資料展 ①「商家の宝」5月18日(土)～7月7日(日)延べ観覧者数:2,321人 ② 写真展「昭和40年代」平成26年2月8日(土)～3月31日(月)延べ観覧者数:1,009人</p> <p>6 対前年度予算増減説明 図録を作成しないことによる印刷製本費・諸謝金の減</p>	<p>根拠法令</p> <p>博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例</p> <p>事業開始</p> <p>平成元年度</p>
---	--

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-3
事業名	文化財等の保存・公開			担 当 課	学芸課
				変更内容	—
目 的	1.保護保存、普及活用に寄与するため、「林氏墓地」の公開と維持管理を行う。また、高田馬場流鏑馬を主催する高田馬場流鏑馬保存会への支援・協力を行う。 2.歴史・文化資源の保護と活用を図るため、区内のミニ博物館の支援を行い、地域文化の核とする。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	150	0	150	部	経常増減の部
区補助金	6,111	6,411	△ 300	大科目	事業費
経常収益計	6,261	6,411	△ 150	種別	補助事業
事業費	5,156	5,316	△ 160	(単位:千円)	
人件費	1,105	1,095	10		
経常費用計	6,261	6,411	△ 150		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 国史跡「林氏墓地」(大正11年国史跡に指定、昭和50年より新宿区が管理): 林氏墓地の公開(3日間)、林氏墓地内樹木の剪定及び除草、林氏墓地内墓石現状調査の実施。講座・史跡めぐりの実施(1-4講座・講演会の開催、1-5歴史文化探訪)再掲。「江戸城外堀」: 講座・史跡めぐりの実施(1-4講座・講演会の開催、1-5歴史文化探訪)再掲
- (2) 高田馬場流鏑馬(昭和63年新宿区無形民俗文化財に指定):
10月12日(月・祝)14時～、都立戸山公園箱根山地区 主催:高田馬場流鏑馬保存会 後援:新宿区、新宿区教育委員会、東京都教育委員会(いずれも予定) 協力:穴八幡宮、新宿歴史博物館
- (3) ミニ博物館:パンフレットの増刷(在庫僅少なもの)、看板等設備の修繕、伝統工芸関連講座等でのミニ博物館との連携、博物館ミュージアムにてミニ博物館商品の販売を行う。
- (4) 地域での活動団体との協働で、伝統芸能の講座・体験形式による普及の機会を提供する。「講談」「投扇興」等。

2 成果指標

- (1) 林氏墓地の公開:参加者数/250人(平成25年度実績:254人)
- (2) 高田馬場流鏑馬:観覧者数/3,500人(平成25年度実績:3,500人)

3 実施上の課題

- (1) 主体となる団体や施設および新宿区の意向に応じて対応しなければならないため、柔軟かつ迅速に対応する。
- (2) 林氏墓地の墓石、樹木環境整備について、新宿区との協議を行う。
- (3) 高田馬場流鏑馬では、毎年3,500人を超える観覧者が集まるため、安全性を重視した運営を保存会と共に進行。
- (4) ミニ博物館を身近な文化資源として一層の活用・周知を図る。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 文化財や伝統芸能・民俗芸能に関連する情報を適切に発信するとともに、講座や体験イベント等で、親しんでもらえる環境を醸成する。

5 実績

各種講座参加人数 (単位:人)

	林氏墓地公開	林氏史跡めぐり	高田馬場流鏑馬	合計参加人数
平成25年度	254	24	3,500	3,778
平成24年度	248	55	3,700	4,003
平成23年度	266	34	3,700	4,000
平成22年度	340	31	3,700	4,071
平成21年度	315	41	3,700	4,056

6 対前年度予算増減説明

民俗芸能上演の隔年実施による委託費の減。伝統芸能講座等の実施による諸謝金の増(1-4講座・講演会の開催から移行)。

根拠法令	文化財保護法、新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	昭和54年度
------	---------------------------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-4	
事業名	講座・講演会の開催			担 当 課	学芸課
				変更内容	—
目 的	1.区民に対し、学ぶ楽しさを体験する機会を提供することで、歴史や文化財に興味を持ってもらい、親しみやすく身近な博物館へつなげる。 2.受講者のニーズに合ったテーマを設定し、座学・実技等バランス良くバリエーションのある内容・形態で構成し、参加者満足度を高める。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,149	1,299	△ 150	部	経常増減の部
自主財源	235	230	5	大科目	事業費
区補助金	276	274	2	種別	自主事業
経常収益計	1,660	1,803	△ 143	(単位:千円)	
事業費	1,384	1,529	△ 145		
人件費	276	274	2		
経常費用計	1,660	1,803	△ 143		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 古文書講座 初級・中級(各全5回 定員60人 2,000円)
- (2) 歴史講座
 - ①「縄文人の暮らし」(全3回 定員60人 1,500円)
 - ②「江戸の暮らし」(全3回 定員60人 1,500円)
 - ③「生誕140年柳田国男の民俗学」(全2回 定員60人 1,000円)
- (3) 文学講座
 - ①「漱石と八雲」(全3回 定員60人 1,500円)
- (4) 史跡関連講座
 - ①江戸城講座(全5回 定員60人 2,000円)
 - ②江戸の朱子学(全2回 定員60人 1,000円)
- (5) 学芸員と学ぶ新宿の歴史
 - ①未定(全2回 定員60人 500円)
 - ②林芙美子(全2回 定員60人 500円)
- (6) 伝統の世界
 - ①和綴じノートづくり(定員40人 300円)
 - ②染色体験(定員30人 材料費+500円)
- (7) 所蔵資料展関連講座(2回 定員60人 500円)
- (8) 近代史講演会(定員60人 500円)
- (9) 中高生からわかる世界一楽しい歴史(定員60人 高校生以下無料、一般500円)
- (10) 夏休み子どもイベント(勾玉づくり、編布づくり、イラスト講座、都電車庫見学会等)
- (11) 絵手紙講座(2回 定員20名 500円)
- (12) 協働講座・講演会(四谷・新宿文化ネットワーク、東京堂、NHK、漱石関係等)

2 成果指標

延べ受講者数/2,450人(平成25年度実績:2,749人)※新宿歴史博物館の大規模修繕による休館を予定しているための減

3 実施上の課題

受講者アンケートの結果を反映して、講座内容や受講方法を改善する。

4 顧客満足度の向上方策

新しい講座内容を取り込む等、内容に幅を持たせた企画を行う。

5 実績

年度	講座数	定員	延べ受講者数
平成25年度	22講座	定員1,210人(延べ2,430人)	延べ2,749人
平成24年度	15講座	定員890人(延べ1,910人)	延べ1,841人
平成23年度	11講座	定員740人(延べ2,420人)	延べ1,712人
平成22年度	20講座	定員940人(延べ2,440人)	延べ2,251人

6 対前年度予算増減説明

内容精査による、消耗品費、諸謝金等の減

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成19年度
------	--------------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-5
事業名	歴史文化探訪			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	新宿の持つ歴史や文化財に加え、自然や地勢、地域の特性など有形、無形の地域の文化・観光資源を再発見し、新たな新宿の魅力を区内外へ向けて積極的に情報発信していく。あわせて外来者や外国人に向けても積極的に情報発信する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	216	260	△ 44	部	経常増減の部
自主財源	△ 134	△ 102	△ 32	大科目	事業費
区補助金	196	195	1	種別	自主事業
経常収益計	278	353	△ 75	(単位:千円)	
事業費	82	158	△ 76		
人件費	196	195	1		
経常費用計	278	353	△ 75		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 新宿区内地区別 4回 各回定員60名
- (2) 新宿区外(新宿区と隣接、関連する地区) 4回 各回定員60名
- (3) 史跡ボランティアによる企画、運営を支援・推進する。
- (4) 協働イベント等での史跡めぐり(四谷文化ネットワーク、漱石山房等)各回定員30名

2 成果指標

延べ参加者数/432人(定員の80%)(平成25年度実績:315人)

3 実施上の課題

- (1) 平日の実施、テーマ性を持たせた企画等を新たに展開していく。
- (2) 所蔵資料展、企画展等に合わせた史跡めぐりや、新宿区外の関連史跡めぐりを実施する。
- (3) ボランティアの居住する地域をテーマにした地区別の運営を定着させる。

4 顧客満足度の向上方策

参加者および従事ボランティアの声をもとに、新宿の歴史に関連する区外のコースも増やしていく。

5 実績

年度	回数	参加者数	平均	内容
平成25年度	6回	延べ315人	52.5人	①上野のお山-寛永界限を歩く- ②茗荷谷小石川散歩 ③落合の文化財 ④四谷-文化財からたどる歴史- ⑤新宿の川「カニ川」の流れをたどる ⑥宿場のなごりを歩こう-板橋宿-
平成24年度	6回	延べ496人	82.7人	①『江戸名所図会』を歩く-角筈・淀橋編 ②四谷寺町を歩く ③徳川将軍の菩提寺-芝増上寺 ④大名屋敷を歩く ⑤『鎌倉街道』を訪ねて ⑥宿場の名残りを歩こう-千住宿
平成23年度	6回	延べ401人	66.8人	①広重の描いた世界を訪ねる ②軍師・剣豪の道をたどる ③芝増上寺と徳川家 ④江戸の文化と文人たちを訪ねて ⑤新宿のルート『内藤新宿』を歩く ⑥江戸市中引回し道

6 対前年度予算増減説明

実績による消耗品費の減

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成22年度
------	--------------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-6	
事業名	学校等への教育活動支援			担 当 課	学芸課
				変更内容	—
目 的	1.新宿区内在学・在住の児童・生徒が、新宿の歴史や文化に対する興味と親しみを深め郷土愛を育むため、学校単位での博物館利用を進める。 2.区内小中学校と連携・協力し、児童・生徒の地域・歴史学習への取り組みを推進することで、学校の教育活動を支援する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会 計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	2,279	2,282	△ 3	大科目	事業費
経常収益計	2,279	2,282	△ 3	種別	補助事業
事業費	413	433	△ 20	(単位:千円)	
人件費	1,866	1,849	17		
経常費用計	2,279	2,282	△ 3		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 保育園、幼稚園、小中学校からの社会科見学、職場体験等の受け入れを行う。また、様々な学校との協働・連携をすすめる。
- (2) 新宿の歴史や博物館資料について、学校に対するレファレンス協力を周知する。
- (3) 学校授業へ貸出用博物館資料の貸出を行う。
- (4) 区立小学校の新3年生に「小学生向けリーフレット」を配布する。
- (5) 区立中学校の新1年生に「中学生向けリーフレット」を配布する。
- (6) 貸出用博物館資料と体験プログラムを充実させる。
- (7) 新宿の歴史・文化に関する新たな学校授業メニューの提案と、学芸員による出張授業を行う。
- (8) インターンシップ、学芸員実習の受け入れを行う。
- (9) 博物館での子ども向けプログラムを実施する。

2 成果指標

連携学校数/42校(平成25年度実績:50校)※大規模修繕による休館を予定しているため減

3 実施上の課題

- (1) 保育園、幼稚園、小中学校の社会科見学利用促進、特に中学校の利用件数増加に向けて、実施前年度の1~3月に区教育委員会等と調整を行う。
- (2) 各時代、テーマに合致した体験用資料の増加と整備、及び博物館の展示や資料を活用した、わかりやすく適切な講義が行える人材を育成する。
- (3) 資料を通じて生活史、体験を伝えるボランティアガイドの導入と育成を行う。
- (4) 小中学校への事業提案メニューやハンズオン等の周知を行い、学校教育の中で博物館資料の活用を充実させる。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 学校等の教育機関が利用しやすい体制づくりを行うとともに、直接学校等に博物館の活用方法を案内する。
- (2) より多くの学校に利用してもらうため、区内の私立学校、幼稚園、保育園への周知も行う。

5 実績

平成25年度

年度初めに「新宿歴史博物館活用の手引き」(2部)を区立小学校全校に配布(29校)

社会科見学・職場体験・職場訪問等の受入:小学校32校1,297人(児童1,202人、教諭95人)

中学校5校14人(生徒14人)

学校授業への貸出用資料の貸出及び出張授業の対応:小学校7校454人(児童439人、教諭15人)

6 対前年度予算増減説明

実績による消耗品費と印刷製本費の減

根拠法令	博物館法・新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成18年度
------	--------------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-7
事業名	〈特定費用準備資金充当事業〉 林芙美子関連記念事業			担当課	学芸課
				変更内容	—
目 的	新宿区とのゆかりが深い林芙美子の書斎をより適切に再現するために調度品・身の回り品のレプリカを作成し、展示することで記念館の魅力を高める。また、新宿歴史博物館で所蔵する直筆原稿の象徴的な数ページのレプリカを作成し、展示等で活用する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	4,142	1,912	2,230	大科目	事業費
区補助金	0	0	0	種別	自主事業
経常収益計	4,142	1,912	2,230	(単位:千円)	
事業費	4,142	1,912	2,230		
人件費	0	0	0		
経常費用計	4,142	1,912	2,230		

事業の計画

1 実施内容(予定)	
平成23年度に林福江様(林芙美子の姪御様)から頂いた寄付金で、平成24年度予算において特定費用準備資金として措置済みの資金を充当し、下記の事業を実施する。	
(1) レプリカ作成 書斎にあった調度品・身の回り品(スタンド等)	
(2) 蔵の内装工事	
(3) アトリエ棟展示室内環境整備	
(4) 関連図書閲覧スペースの設置	
(5) 今後財団で芙美子に関係した事業等でアイコンとして活用するイラストを作成する。	
2 成果指標	
林芙美子資料のレプリカ作成を着実に実施する。	
3 実施上の課題	
(1) 林芙美子との関係のある他自治体等と連携した情報交換を継続していく。	
(2) 林芙美子の研究や他文学館等での関連の展示開催等が促進されるよう支援・働きかけを行う。	
4 顧客満足度の向上方策	
林芙美子関連資料の修復やレプリカ作成を推進し、来館者に公開する。	
5 実績	
平成25年度	
(1) 林芙美子記念館内石蔵ギャラリーをリニューアル	
(2) 生誕110年林芙美子展図録印刷(有償分1,500冊):新宿歴史博物館において、「生誕110年林芙美子展」を北九州市立文学館、尾道市、かごしま近代文学館と協働企画展を開催。	
(3) 林芙美子資料のレプリカ作成:林芙美子が生前書斎で使用していた文机、切手盆、ペーパーナイフ、ペン皿(尾道市所蔵)4点	
(4) 林芙美子資料目録(新宿歴史博物館、北九州市立文学館、尾道市、かごしま近代文学館所蔵資料)500冊作成、全国文学館協議会加盟館等に配布	
6 対前年度予算増減説明	
蔵の内装工事、アトリエ棟展示室の環境整備による委託費の増	
【参考】 特定費用準備資金の状況	
(1) 資金の名称:林芙美子記念事業積立資産	
(2) 活動の実施予定時期:平成24年度から平成27年度	
(3) 積立金額:10,000,000円	
(4) 本事業への充当額:9,996,682円 平成24年度(決算)2,025,500円、平成25年度(決算)2,889,164円、平成26年度(決算見込)940,018円 平成27年度(予算)4,142,000円	
(5) 資金残額:3,318円	
根拠法令	博物館法、新宿区立林芙美子記念館条例
事業開始	平成24年度

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-8	
事業名	夏目漱石関連記念事業			担当課	学芸課
				変更内容	—
目 的	平成29年に開館する(仮称)「漱石山房」記念館のプレイベントとして、新宿区とのゆかりが深い夏目漱石の関連事業を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	1,277	1,281	△ 4	大科目	事業費
区補助金	0	0	0	種別	自主事業
経常収益計	1,277	1,281	△ 4	(単位:千円)	
事業費	1,277	1,281	△ 4		
人件費	0	0	0		
経常費用計	1,277	1,281	△ 4		

事業の計画

1 実施内容(予定)

平成29年に開館する(仮称)「漱石山房」記念館のプレイベントとして、新宿区とのゆかりが深い夏目漱石の関連事業を実施する。

- (1) 展示会の開催(1-2展示会の開催)再掲
「熊本と新宿を繋ぐ作家 漱石・八雲」7月18日(土)～8月30日(日)
- (2) 関連講演会の開催(1-4講座・講演会の開催)再掲
2回 定員60名 1回500円
- (3) 関連史跡めぐりの実施(1-5歴史文化探訪)再掲
1回 定員30名 1回500円
博物館ボランティア史跡部会の企画運営により、(仮称)漱石山房記念館ボランティアの育成を図る。
- (4) 漱石関連図書の購入
現在発行されている漱石関連の図書を購入し、閲覧室で公開する。
- (5) 関連施設視察の実施
- (6) 漱石関連マップの作成
漱石に関連するマップを作成し、(仮称)「漱石山房」記念館開館への関心を高めていく。
- (7) 今後財団で漱石に関係した事業等でアイコンとして活用するイラストを作成する。

2 成果指標

漱石関連の図書の購入を計画的に行い、閲覧室で公開する。

3 実施上の課題

平成29年に開館する(仮称)「漱石山房」記念館の動向を見守りながら、事業を実施していく。

4 顧客満足度の向上方策

漱石関連図書の閲覧室での公開に関して、区民をはじめ多くの方々に知ってもらうために新宿区と連携して周知活動を行う。

5 実績

平成26年度新規事業のため、平成25年度の実績なし。

6 対前年度予算増減説明

資料調査・確認のための出張旅費を「1-2展示会の開催」へ移行したことによる旅費交通費の減

根拠法令	博物館法	事業開始	平成26年度
------	------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-9	
事業名	博物館ボランティアの活動支援			担 当 課	学芸課
				変更内容	—
目 的	博物館・記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	120	120	0	部	経常増減の部
区補助金	5,322	5,164	158	大科目	事業費
経常収益計	5,442	5,284	158	種別	補助事業
事業費	2,005	1,877	128	(単位:千円)	
人件費	3,437	3,407	30		
経常費用計	5,442	5,284	158		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) ボランティアの活動

- ① 展示ガイド・・・常設展、特別展1回、協働企画展2回、所蔵資料展2回、の展示案内
- ② 史跡ガイド・・・歴史文化探訪6回、林氏墓地1回、江戸城外堀1回
- ③ 林芙美子記念館ガイド・・・林芙美子記念館の案内、内部公開、庭園鑑賞会、落合の追憶等
- ④ アトリエ記念館ガイド・・・佐伯祐三・中村彝アトリエ記念館の案内、落合の追憶等
- ⑤ 事業サポート・・・講座補助、閲覧室補助、メンバーズ通信発行、チラシ発送、ガーデニングクラブ等

(2) ボランティアの活動運営 ボランティア全体会 年2回

- (3) レベルアップ講座、部会別研修、視察研修の実施
- (4) ボランティア養成講座の実施
- (5) 漱石関連のスキルアップ講座の実施

2 成果指標

ボランティア活動回数/2,000回(平成25年度実績:2,096回)※新宿歴史博物館の大規模修繕による休暇を予定しているための減

3 実施上の課題

- (1) ボランティア全体のガイド技術やマナー等の向上を図る。
- (2) 博物館事業への積極的な参画を図るとともに、活動の場の提供を進める。
- (3) 自主勉強会や自主的活動を支援する。
- (4) 史跡ガイドボランティアによる選定コース策定を行う。
- (5) ボランティアに対する職員のコーディネート力を向上させる。

4 顧客満足度の向上方策

レベルアップ研修や、バス研修は、これまでのアンケート結果や今後のボランティア活動に必要なと思われるテーマを考え、実施する。また、ボランティアの接遇等の研修等も検討していく。

5 実績

平成25年度

	登録人数	活動日数	延べ活動回数	活動内容
展示ガイド	60人	319日	751回	館内ガイド、駅からハイキング、社会科見学等
史跡ガイド	44人	10日	183回	歴史文化探訪、林氏墓地関連事業等
林芙美子記念館ガイド	42人	276日	540回	館内ガイド、内部公開等
アトリエ記念館ガイド	47人	161日	338回	佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館館内ガイド
事業サポート	57人	126日	284回	レガス子どもクラブ、子ども講座、事務作業等

全体会:2回、延べ参加者数:161人(4月16日、9月22日)

レベルアップ講座:4回、延べ参加者数:231人(4月16日、6月5日、6月12日、9月22日)

部会別研修会:計13回、延べ参加者数:297人

ボランティア延べ登録者数:250人

6 対前年度予算増減説明

養成講座開催による(隔年開催)諸謝金の増

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿博物館条例	事業開始	平成15年度
------	------------------	------	--------